



平成 27 年 5 月 13 日

各 位

会社名 株式会社 T B グループ
 代表者名 代表取締役会長兼社長 村田三郎
 コード番号 6775 東証第 2 部
 問合せ先 常務取締役経営管理本部長 信岡孝一
 (TEL. 03 -5684 -2321)

特別利益及び特別損失の計上並びに平成 27 年 3 月期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は下記のとおり特別利益及び特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。あわせて平成 26 年 11 月 7 日に公表いたしました業績予想と実績値との間に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上

- (1) 関係会社株式売却益 (連結) 292,865 千円
 関係会社株式売却益 (個別) 271,528 千円

連結子会社の株式を一部売却したことに伴う売却益を計上いたしました。なお、関係会社売却益 (連結) につきましては、平成 27 年 3 月 31 日にて公表いたしました「当社連結子会社と株式会社光通信との資本業務提携及び特別利益の発生に関するお知らせ」において未確定であった特別利益額が確定したものであります。

- (2) 訴訟損失引当金戻入額 (連結) 45,356 千円

連結子会社において訴訟による損害賠償金に備えるための見込み金額の戻入額を計上いたしました。

- (3) 関係会社清算益 (個別) 284,497 千円

連結子会社の会社清算に伴い清算益を計上いたしました。

2. 特別損失の計上

- (1) 投資有価証券評価損 (連結) 20,749 千円
 投資有価証券評価損 (個別) 18,249 千円

保有する株式について、簿価に比べ実質価額が著しく下落している投資有価証券の評価損を計上いたしました。

3. 業績予想と実績値の差異

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想との差異 (平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 27 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	4,000	△96	△100	△120	△1.68
実 績 数 値 (B)	3,682	△279	△272	16	0.23
増 減 額 (B-A)	△317	△183	△172	136	—
増 減 率 (%)	△7.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	4,088	△84	△65	△198	△2.78

平成 27 年 3 月期通期個別業績予想との差異 (平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 27 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	2,580	△18	△20	△37	△0.52
実 績 数 値 (B)	2,423	△76	△76	445	6.20
増 減 額 (B-A)	△156	△58	△56	482	—
増 減 率 (%)	△6.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	2,295	△30	△30	△71	△0.99

通期業績予想との差異の理由

(1) 通期連結業績

売上高は上半期と比べ下半期は消費税増税に伴う市況の下振れは改善したものの地方販売会社の業績不振に伴い、販売会社向けの売上高は想定を下回りました。

[LED&ECO事業]

フルカラーモデルLED表示機及びLED照明の売上高は下期に貢献したものの価格競争が激しく利益率は低下いたしました。多言語対応表示機は開発の遅れにより市場投入は来期となりました。

[SA機器事業]

スマートフォン・タブレット端末対応商品を企画開発いたしましたが、業績寄与は限定的となり販路及び販売手法を再構築いたします。また、円安による輸入商材の仕入価格上昇が収益力を低下させました。

以上のことから、売上高、営業利益、経常利益は前回予想を下回りました。

当期純利益は、前項1.特別利益の計上、2.特別損失の計上により16百万円となり前回予想を上回りました。

(2) 通期個別業績

売上高は連結業績と同様に上半期と比べ下半期は消費税増税に伴う市況の下振れは改善したものの地方販売会社の業績不振に伴いグループ販売会社向けの売上高は想定を下回りました。

LED&ECO事業及びSA機器事業は、上記「通期連結業績」に記載の状況を受け、売上高、営業利益、経常利益は前回予想を下回りました。

当期純利益は、前項1.特別利益の計上、2.特別損失の計上により445百万円となり前回予想を大幅に上回りました。

以上